

鎌倉音楽茶論【ドイツ宮廷の巨匠たち】

「カフェサンスーシ」がお贈りするサロンコンサート

バロック・ヴァイオリン・シリーズ 第十二弾！



‘19年3月3日（日） 14時～

於：カフェサンスーシ

（鎌倉雪の下 3-10-23

清泉小正門前）

会費：2600円（珈琲・紅茶付、
ケーキセット +400円）

要予約 0467-23-7223 岡本

イタリアからドイツ語圏に、ヴァイオリンは17世紀にはウィーンに達し、18世紀にはドレスデンやベルリンの宮廷で多くの巨匠たちを輩出しました。フランスの宮廷で重用されたヴィオラ・ダ・ガンバも最後の栄光の時代をドイツで迎えます。二つの擦弦楽器の織り成す響きをお楽しみ下さい！

～演奏曲目～

J・P von Westhoff：ヴァイオリン・ソナタより

C・F Abel：無伴奏ヴィオラ・ダ・ガンバの為のソナタより

J・S Bach：ヴァイオリンと通奏低音の為のソナタ BWV1023 他

～出演者プロフィール～

今 卓也（バロック・ヴァイオリン）東京生まれ 6歳よりヴァイオリンを故清水章央氏（N響）に師事 バロック・ヴァイオリンを小野萬里氏、寺神戸亮氏、ジャズを寺下 誠氏に師事 マルチ分野の演奏活動を展開 古楽アンサンブル代表

折原麻美（ヴィオラ・ダ・ガンバ）国立音楽大学音楽学部（音楽学）を卒業、同時に有馬賞を受賞。2010年に渡欧、2017年ブリュッセル王立音楽院古楽器科修了。リエージュ交響合唱団との協演、ユトレヒト国際古楽音楽祭等で活躍後、2018年帰国拠点を日本に移し、国内外問わず幅広い活動を展開。 www.oriharaasami.com